

さくら通信 第29号

特別養護老人ホーム桜木園
デイセンター桜木
令和7年10月1日発行
行事広報委員会



桜木園では、7月18日金曜日に夏祭りを開催。今年は利用者様に提灯の飾り付けから手伝っていただき、開催までの雰囲気作りを行いました。今か今かと待ちわびた当日の昼食は焼きそばを食べお祭り開始までの気分を高めます。そのあとは半縄を羽織って準備万端です。

いざお祭りが始まると、焼き鳥やフランク、たこ焼きやホタテ焼き、ノンアルコール飲料、駄菓子、ミニたい焼き等たくさんのメニューの中から、" どれにしようかな、これもいいな" と悩みながらも両手に持ちきれないほど選ぶ利用者様もいらっしゃいました。

また、毎年恒例となりつつある"くじ引き" もお楽しみの一つ。参加賞も含め、ハズレなしのくじです。"やったー!" と喜ぶ声や" 何だこれか" と落胆の声も聞こえ、笑顔や賑やかな声があふれる一日となりました。

介護副主任 濱田

デイサービス敬老会

デイサービスでは9月10日から9月16日にかけて敬老会を行いました。長寿の象徴でもある鶴と亀に扮した職員による長寿のお祝いでは、「亀は誰かすぐに分かったけど、鶴は誰かしら」との声もあがり登場した瞬間から盛り上がっていました。

職員によるソーラン節の余興や、普段より少し豪華なおやつを準備できたことで、楽しい時間を過ごして頂けたと思います。

今後とも、毎月利用者様に楽しんで頂けるようなゲームやイベントを企画してまいりますので、ご利用お待ちしております。

デイサービス職員 伴



編集後記

連日の猛暑30°Cを超える日々で脱水も懸念されましたが、皆様暑さに負けず過ごされていました。

桜木園では行事企画のほか、次世代の福祉業務従事者、人材育成のため、学生の職場体験介護実習の受け入れを行ってまいりました。

今後も、出前講座(ユメココ)高校生の介護実習と予定が入っております。近い将来、桜木園・又はむつ市で働いて頂けることを期待しております。

生活相談員 澤田



食事の紹介



9月16日(火)
敬老のお祝い膳

- きのこご飯
- サンマの塩焼き
- 匂の炊き合わせ
- キャラメルケーキ
- 八杯汁
- 山吹和え



※当施設の広報誌は個人情報保護法に基づき、ご利用者様から了承を得て写真等掲載しております。

※コロナ感染症法上の位置づけ変更後も市内の状況を見ながら感染対策を継続しております。

ヒバヤマボウユニット

9月16日に敬老会と9月の誕生日会を開催しました。参加された利用者様には感謝の気持ちを込め記念品が贈られ、誕生日を迎えた方々にはプレゼントをお渡ししました。プレゼントを受取った利用者様の笑顔がとても印象的でした。

余興では、職員と利用者の皆様で「お祭りマンボ」を踊りました。懐かしいリズムに自然と笑顔が広がり会場は大盛り上がりとなりました。

最後は秋の味覚である梨とねりきりを味わいながら、楽しいひとときを締めくくりました。皆様の笑顔が溢れる心温まる一日となりました。

ヤマボウユニット職員 東田



ヤマボウユニット職員 東田

ブナキリユニット

ブナキリユニットでは利用者様の何気ない言葉に注目してみました。「桜木園の偉い人の名前を知らない」そういったお声がありました。そこで利用者様に紹介を兼ねて一緒に触れ合う時間があればと思い利用者様、施設長、一つのテーブルで昼食を召し上がって頂く企画を設けました。

最初は言葉数も少なく、静かな時間ではありましたが、時間経過と共に会話が出てきて、楽しい食事風景に変わっていました。

食後は利用者様からの質問に対し、施設長が自ら返答する質疑応答の時間も作り「施設長を初めて見れて良かった」「名前もしっかり覚えました」等、利用者様から絶賛のお声があがりました。利用者様の声を一つの形にしてみた良い例だったのではないかでしょうか。これからも利用者様のことば一つ一つを大切にしたいと思います。

ブナユニット職員 軽米



トチケヤユニット

今年も、春に植えた野菜や果物を収穫する時が来ました。連日の猛暑のなか、水やりも利用者様と職員みんなで行い、いよいよ待ちに待った収穫です。

収穫も、もちろん利用者様ご自身でされ、立派に育ったスイカに今年一番というくらいの満面の笑みもこぼれています。

暑い夏を元気に乗りきるために、採れたてのキュウリとミニトマトにはマヨネーズを付けて、メロンとスイカは冷たく冷やしてみんなで一緒にいただきました。

「とても美味しい」「一番の御馳走だ」と、みなさん大変喜ばれていました。

来年の夏の暑さがどうなるかわかりませんが、またひとつ、楽しみが増えた夏のある日です。

トチユニット職員 土岐



ナラマツユニット

真夏の暑さから解放され、朝晩の冷え込みに秋への移り変わりを感じる今日この頃。今回は真夏の入居者様のサンルームでの過ごし方についてお伝えしたいと思います。

春秋は、快適なそよ風がなびくサンルームで日光浴や喫食をされていますが、真夏は、朝を過ぎると容赦ない日差しがジリジリと部屋を熱し、室温が高くなるため過ごすには厳しく、利用される方はなかなかいません。そんななか、重宝されるときがごく僅かであります。

2階建てで中央町という立地が幸いし、むつ市花火大会が室内に居ながらにして、鑑賞が出来るということです。お歳を召されると、花火はあまり魅力的ではないのか、

「寝てる方が良い」「若い時見たから大丈夫」等と話す方が多く、限られた希望者だけですが、普段はお休みされる時間のなか、ワインとチューハイで乾杯し（ノンアルコールですが（笑））ちょっとの夜更かしを楽しんでいました。

マツユニット職員 沼田



むつ市花火大会



大湊ねぶた